

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	私道整備事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路建設課					
施 策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備	主管課長	遠藤 茂					

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	私道を利用する市民	意図	一定の公共性が認められる私道について、施設改修を実施し、生活環境の向上を図る。
事業内容	整備要望のあった私道について、公道への接続、沿道の住居数、幅員・構造等の適法性等を審査し、適合した私道について、「私道整備要綱」に基づき道路整備を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	私道に対する援助は、昭和40年代には敷均し用の砂利の購入であったが、公私道の区分を問わずにアスファルト舗装が標準化してきたことから、「地域排水整備」の仕組みにならって、関係者に一部費用を課してアスファルト舗装化等への工事を実施する仕組みとなった。最近の傾向として、整備要件である関係住民全員の同意が、地権者不明等により難しい状況にある。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	整備本数		1	0	1	本	
	適格整備要望本数に対する整備実施本数の割合	100	0	100	%		
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 緊縮財政下において、市道の改良の質・量が停滞する中で、私道に対する整備については、課題解消のための必要最小限のレベルでの対応となっている。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,175,100		4,721,400			
事業費(b)(円)		2,079,000		2,462,400			
うち一般財源		1,663,200		1,969,920			
職員給与費(c)(円)		2,096,100		2,259,000			
人役・職員(人)		0.30		0.30			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H27)の改善計画	施工に対し協議を行い、整備を実施した。
今年度(H27)に実施した取組	要望に伴い、私道整備を実施した。

取組の課題	適合する私道については、早期整備に努める。
今後の改善計画	近隣市町村の整備要綱を調査し、受益者負担金の取り扱いを検討する。